

われら念仏同行



ようこそ



(上)バッジをつけて
えんじょうかい
円成会の皆さん

(3月1日)

(左)『われら念仏同行』バッジ

◎どなたにでもさしあげます。
お寺まで申し出てください。

第 18 号

浄土真宗本願寺派

円光寺

〒870-0108

大分市三佐3-15-18

TEL097-527-6916

FAX097-527-6949

日頃から、気持ちをもつて、ていねいに

ご本山(京都西本願寺)の「親鸞聖人七五〇回大遠忌法要」ご修行までいよいよ一年になりました。五十年に一度のご勝縁ということで、着々と準備も進み、この一年は九州地区で大分教区で大海組と、お待ち受けの法要行事が続きます。

これは単なる行事遂行ということではありません。これをご縁に、この私の本願念仏に生きる私になつていくということ、そのこと一つ、ご開山親鸞聖人はおすすすめです。共々にお念仏をよろこび申す身にさせていただきますましよう。

円光寺ではこのご縁に、昨年「しんらんさま750プログラム」を実施しています。

門徒会館「あんのん館」ができました。ご門徒皆さんの集会場として、また広く地域の方々にも使っていたいただき、日頃からお寺に親しみ、仏さまのご縁に遇っていただきたいと思います。

大遠忌をお迎えする機運を高めていこうと『われら念仏同行』特製バッジを作りました。「私は浄土真宗の門徒です」の気持ちをもつて、門徒式章にバッジをつけてお参りしましょう。あわせて帰敬式(おかみそり)をおすすすめします。お釈迦さまのお弟子にならせていただいたと法名を名のり、いよいよお念仏の生活をおくりましょう。

ご本尊(阿彌陀如来)を中心に、日々のお勤めをていねいにさせていただきますましよう。お仏壇のお莊嚴には特に気をつけて、迷信俗信に振り回されることなく、わからないことは何でもお寺にお聞きください。お仏壇は迷いの私が救われていく教えそのものですから、間違いなく(仏さまの教えに背くことなく)きれいに飾りましょう。

浄土真宗は平生業成(今の救い)のみ教えです。

キッズサンガ・円光寺

子どもの声が聞こえるお寺



韓国からヨンさんが水曜学校に遊びに来ました(6月3日)

親鸞聖人七五〇回大遠忌のご縁に「すべてのお寺で子どもの集いを」と、全国的にキッズサンガ活動が進められています。キッズは子どもたち、サンガはお念仏の仲間、集団ということ。子どもたちに仏さまのご縁に遇ってもらうなかで、本来のお寺になっていくという大きな願いがあります。

うちの子もよその子もない みんなほとけの子

円光寺では、小学生を対象に「水曜学校」を開設しています。毎週水曜日の4時から1時間、お寺の本堂でお勤めをし、仏さまのお話を聞いて、ゲームをし

ます。生徒は現在20人で、ご門徒のお子さんに限らず、ご門徒以外のお家の子ともいます。

如来の家のわれら念仏家族

浄土真宗のご縁をいただく私たちは、阿弥陀さまお釈迦さまを親さまとする、みんなほとけの子です。そしてお寺は、阿弥陀さまのお浄土を想う私たちの心の古里です。

今は核家族化が進み、少子高齢社会で一人暮らしの世帯が増えました。家族のあり方がずいぶん変わり、子どもがいらないお家が多くなりました。「うちには子どもが、孫がいらない」ということですが、お寺を一つの家族

書籍紹介

『朝には紅顔ありて』

大谷光貞ご門主のベストセラ―

『朝には紅顔ありて』が文庫化され全国の書店で発売中(角川文庫、五百円)。「人はなぜ生きるのか。なぜ死ぬのか」、ブツダをはじめ、法然聖人、親鸞聖人、蓮如上人などのお言葉を引きながら、人生とは何かを真摯に語

とみなすと、子どもや孫がたくさんいます。お念仏を子や孫にと、一人でも多くの人にお念仏のみ教えを伝えていくこととする活動がキッズサンガなのです。あなたも私もほとけの子です。お寺のお家に帰って来て、子どもからお年寄りまで世代を超えて、みんな一緒に仏さまのご縁に遇わせていただきますよう。

私にできるお手伝いを させていただけますよう

水曜学校のほかに、サマースクール(一泊子ども会)や子ども報恩講、花まつりも行っています。「子どもと一緒にお寺で遊ぼう!!」という気持ちで、ご門徒皆さんのお手伝いをお願いいたします。キッズサンガの活動を通して、お念仏のおじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんになっていきましょう。

られる。混迷の現代を生きる私たちに光をもたらす書である。



世々生々

大河ドラマ「龍馬伝」の放送もあって、坂本龍馬ブームである。33歳で生涯をとじた若者に長年のファンは多い。鎖国という徳川封建時代の閉塞社会にあって、明治維新の立役者の一人である◆既存の物事にとらわれない大胆な改革といわれる。翻って私たちの現実はいわゆるの体制にすっかり安住し、目の先のことには心奪われ、未来を見る目を曇らせるものが何と多いことか◆このブームに乗じた地域おこしに、佐賀関(大分)から長崎まで勝海舟らと龍馬が歩いた道として豊後街道が紹介されている。江戸時代の街道は参勤交代の道として整備されたが、人やものが交流した生活の道でもあった。僧侶も門徒衆も歩き、私たちのお念仏のみ教えもこの道を幾度も往来したことである◆身を切るような、まさに命がけの行動に龍馬はゆく。なぜそんなにまでして走り続けるのか。待っていたらそのうち出番がやってくるのと思うこともある。うまく生きようとは思わない。おもしろく生きたい。そこに龍馬の魅力を見る◆お寺の現実を重ねて思う。何かほんやりよんでおもしろくない。ここは龍馬をまねて歩いてみるか。

お朝事「法話」より

お互い大変だったなあ

元プロ野球選手の小林繁さんが急死されました。江川問題という社会的にも大きな波紋を広げた事件がありました。プロ野球のドラフトで阪神に指名された江川投手が「空白の一日」に巨人入団を強行発表し論議沸騰した問題で、結局はコミッショナー裁定ということで、阪神・巨人間で交換トレードが行われ、巨人のエースだった小林投手が阪神に移籍したという、因縁の二人、一方の江川さんが涙ながらに心境を語っていました。
一昨年28年ぶりにお酒のコマー



お菓子教室
おいしいケーキを作ります(12月11日)



お茶の会・初釜食事会
(1月28日)

シャルで共演再会したというところで。同じ野球界にいながら二人はずっと遠い存在だったそうです。その時、先輩の小林さんから「お互い大変だったなあ」と声をかけられて、江川さんは今までの心のつかえがおりて、ほっとした嬉しかったと話していました。本心だと思えます。周囲の様々な思惑に振り回されて、お互い本当につらかったという思いが、二人を一気に近づけたことだと思います。
私たちの生活をちよつと振り返ってみると、「私が、私が」とどこまでも自分中心に生きようとする私たちがいます。自分の思い通りにならない現実をそのまま受け入れることができず、あいつがこいつがとお互いが

み合い憎しみ合って、泣いたり怒ったりしている私たちです。阿弥陀さまはその様子を「悲しいね」とご覧になり、すーっとお立ちになつて、迷いの世界に苦悩する私をこそ救おうとおはたらきの仏さまになつてくださいました。その救いのめあてはこの私だけではなく、あいつがこいつがという人も同じように救うてくださる、阿弥陀さまの大きなお慈悲のなかでつながっている私たちでした。
南無阿弥陀仏のお念仏のみ教えに出遇うなかで、「お互い大変だったなあ」と、今まで背中合わせに生きていたお互いが、共に向かい合ひ、知り合ひ、あなたに会えてよかつたと、大きな

お朝事にお参りしましょう
八毎朝6時30分〜7時

ご案内

春彼岸会

3月20日(土) 11:00~14:00
同 19:30~21:00
3月21日(日) 13:30~15:00

花まつりの会

4月7日(水) 9:00~12:00
(白象パレード、新1年生を祝う会)

宗祖降誕会

5月23日(日) 10:00~15:00
(初参式、バザー、もちまき)

“月に一度は
お寺参りしましょう”



町角伝道掲示板
(3月のことば 沖・石口恒男様宅前)

のちのつながりのなかに生きさされてあるお互いであつたと知らされます。
お念仏申しつつ、あなたに会えて、あなたがいるから、この苦悩の人生をお浄土へと力強く生きて往けると聞かせていただきました。
(1月19日)

誕生日にお寺のおあさじにお参りしましょう

この命恵まれて、仏さまのご縁をいただいた喜びと感謝の念いを、阿弥陀さまに有縁の仏さま方に奉告しましょう。来年の大遠忌まで、お参りの方には記念の腕輪念珠(各年ごとに各種)をおあさじにお参りください。1月14日は、岸田シズエさんの90歳卒寿の誕生日で、常朝事同行の皆さんとお祝いのお勤めをしました。



にこやかに年を重ねる「とも同行」岸田さんを囲んで藤澤 廣さん、清松カツコさん

人生の節目〜にお念仏〜ふうふで寺参り〜

結婚50年、金婚式を迎えました。お浄土への人生をいよいよ共に歩みます。



清松博人さんとカツコさん夫妻 (8月15日)

私たち、結婚しました。これから一緒に仏さまのご縁に遇わせていただきます。



上野丈二さんと久美子さん夫妻 (12月20日)

御正忌報恩講

(11月26日〜28日)



ほれぼれと仏法聴聞 川田晃映講師 (熊本正善寺住職)

“ごどもほうおんこう”

2年ぶりに高校生スタッフで人形劇「ももたろう」を上演しました。よかったです。



人形と一緒に、ハイポーズ!! (11月26日)

『月に一度は寺参り』

スタンプリィ

1月16日常例法座のご縁に、昨年一年間よくお寺参りされた方に記念品を贈りました。



今回の記念品は何か？ 坊守さんのアイデアが楽しみです

あとかぎ

毎朝六時に梵鐘をつく。ずっと暗い中だったが、東の空が次第に明るくなってきた。まだまだ寒い、あたたかい春の訪れを感じる。お日さまですごいなあと思う。

「仏さまのお慈悲は本当にぬくいなあ」とお念仏申して生きた先人のすがたを想う。

お朝事にお同行が一人二人とお参りされる。お念仏の一日が始まる。今日も一日、色んな事があるだろうが、あたたかいお慈悲に包まれて生きていこう。